

列車

坂多 瑩子

さきほどまでは

いつもの街並みだった

まいにち乗っているんだから

いねむりしたって

ああ あのかんばん

ああ あのアパート

だけど どうしたのだろう

見慣れない景色のなかを

おおきくゆれながらごとごと走っている

だれの子だろう

目のまえの席に赤ん坊が寝かされている

わらっているよ

お腹がすいたらばー山ひる取って食わそー

山ひる食べればよー血をば吸われて死ぬわいなー *

死んだらいいさ

ばあさんが歌っていたっけ

産めばいいさ またいっばい

車両をひっぱっている運転手の背中がみえる

赤ん坊はかわいいね

お乳あげよう

もういちど腹にもどしてあげよう

ほら わらっている

* 三枝和子『隅田川原』